

4 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

私は、猫や犬の殺処分について調べました。

この日本では犬猫の引き取り数は犬が四万一千七十五頭、猫は七万二千六百二十頭もの犬や猫が引き取ってもらえたそうです。山形県では迷ってしまった犬や猫を増やさないためにマイクロチップの装着をお願いしているそうです。でも引き取ってもらえた幸せな犬や猫ばかりではなく、ある年の処分数犬一万四百二十四頭、猫四万五千七百七十四頭も処分されてしまっていることがわかりました。しかし数ヶ月前に三重県津市に保健所で収容した犬や猫を引き取る施設を開所しました。約二十頭の猫と約十頭の飼い主を探しているそうです。

そこで、どうして猫の処分が多く、減らないのか調べてみました。猫は昔から「ねずみをとるための動物」という目的があったため、どうしても日本人は育てるために飼う人が少ないそうです。もう一つ殺処分が多い理由は、近所で生まれた猫をゆずり受けることが多かったり、ペットショップにいるような海外の猫を見つけて一目ぼれして買う人が多かったりするからです。ただ猫はけいこい心強いので成猫から飼うには大変だそうです。でも猫だって生きているので、飼い主はがんばって最後まで育ててほしいです。

私は、ペットショップに保健所から引き取った犬や猫を連れてきて同じように売ればいいと考えています。さらに、どんな動物にも命に値段をつけてはいけないと思うので、ちゃんと育ててくれる人を探し、「引き取ってもらう」のが一番いいと思います。しかし、まだ私たちがそれを決めることが出来ないのです、ポスターを作ればいいと考えました。ポスターの内容は、「最後の最後まで責任をもち大切に育てること」「飼う前にその家が飼っている環境なのか、家族にむかえて大丈夫なのかをもう一度確認すること」「猫や犬は十五〜二十年生きること」をもう一度知ってもらうことを書きます。また、飼う前に里親が集や、保健所を見てから飼うこともお願いしたいです。私たちが今できることは、このことをみんなに知らせることですが、

先の将来にはペットショップと保健所を一体化させて、猫や犬

が殺処分されないような世の中になって欲しいです。

【「文集はちおうじの子」より】

説明文 理由と意見

問1 「どうして猫の処分が多く、減らないのか調べてみました。」と、ありますが、どのような理由がありましたか。空らんをうめましょう。

① () という

目的が昔からあるため、飼う人が少ない。

② 近所で猫を () ことが多い。

③ ペットショップで ()

して、買ってしまう人が多い。

問2 「猫や犬が殺処分されないような世の中」にするために、筆者はどうすればよいと考えていますか。

ア ペットショップで保健所の犬や猫を売るなど、二つを一体化させるとよい。

イ ペットショップで猫を売ることをやめた方がよい。

ウ 犬や猫が増えてしまうと困るので、殺処分は仕方が無い。

エ 保健所の犬や猫を自分が引き取ってあげればよい。

事実と意見

ある物事や事態、出来事などのことを「事実」と言い、それらについての筆者の考えを「意見」と言う。二つを区別しながら読むことが大切である。

理由

考えや主張のもとになるもの。「どうしてか」という「の」の部分で、事実や、筆者の体験などによって示されることが多い。

4 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。

私は、猫や犬の殺処分について調べました。

この日本では犬猫の引き取り数は犬が四万一千七十五頭、猫は七万二千六百二十頭もの犬や猫が引き取ってもらえたそうです。山形県では迷ってしまった犬や猫を増やさないためにマイクロチップの装着をお願いしているそうです。でも引き取ってもらえた幸せな犬や猫ばかりではなく、ある年の処分数犬一万四百二十四頭、猫四万五千七十四頭も処分されてしまっていることがわかりました。しかし数ヶ月前に三重県津市に保健所で収容した犬や猫を引き取る施設を開所しました。約二十頭の猫と約十頭の飼い主を探しているそうです。

そこで、どうして猫の処分が多く、減らないのか調べてみました。猫は昔から「ねずみをとるための動物」という目的があったため、どうしても日本人は育てるために飼う人が少ないそうです。もう一つ殺処分が多い理由は、近所で生まれた猫をゆずり受けることが多かったり、ペットショップにいるような海外の猫を見つけて一目ぼれして買う人が多かったりするからだそうです。ただ猫はけいこい心が強いので成猫から飼うには大変だそうです。でも猫だって生きているので、飼い主はがんばって最後まで育ててほしいです。

私は、ペットショップに保健所から引き取った犬や猫を連れてきて同じように売ればいいと考えています。さらに、どんな動物にも命に値段をつけてはいけなと思うので、ちゃんと育ててくれる人を探し、「引き取ってもらう」のが一番いいと思います。しかし、まだ私たちがそれを決めることが出来ないのです、ポスターを作ればよいと考えました。ポスターの内容は、「最後の最後まで責任をもち大切に育てること」「飼う前にその家が飼っている環境なのか、家族にむかえて大丈夫なのかをもう一度確認すること」「猫や犬は十五〜二十年生きること」をもう一度知ってもらうことを書きます。また、飼う前に里親が集や、保健所を見てから飼うこともお願いしたいです。私たちが今できることは、このことをみんなに知らせることですが、

先の将来にはペットショップと保健所を一体化させて、猫や犬

が殺処分されないような世の中になって欲しいです。

【「文集はちおうじの子」より】

説明文 理由と意見

問1 「どうして猫の処分が多く、減らないのか調べてみました。」と、ありますが、どのような理由がありましたか。空らんをうめましょう。

① (ねずみをとるための動物) という

目的が昔からあるため、飼う人が少ない。

②近所で猫を (ねずみを取る) こと

が多い。

③ペットショップで (一目ぼれ)

して、買ってしまいう人が多い。

問2 「猫や犬が殺処分されないような世の中」にするために、

筆者はどうすればよいと考えていますか。

ア ペットショップで保健所の犬や猫を売るなど、二つを

一体化させるとよい。

イ ペットショップで猫を売ることをやめた方がよい。

ウ 犬や猫が増えてしまうと困るので、殺処分は仕方が無い。

エ 保健所の犬や猫を自分が引き取ってあげればよい。

ア